

参加誓約書

私は、おおつち新山高原ヒルクライム 2022（以下大会と略す）への参加にあたり、下記の事項を誓約します。

【誓約事項】

1. 提出した本大会への応募書類の記載事項は、すべて真正であること。
2. 大会主催者が定めたすべての規則、注意事項、指示に従うこと。
3. 競技中および付帯行事の開催中に負傷または死亡事故が発生した場合、私自身および私の家族、保護者等の関係者は、その原因の如何を問わず、大会開催障害保険による保険給付のほかは、主催者および大会関係者に対し一切の補償請求をしないこと。
4. 競技中および付帯行事の開催中に傷病が発生した場合、主催者の応急手当を受けることを承諾すること。また、その方法、経過等について、主催者の責任を問わないこと。
5. 大会競技および付帯行事の開催中、私個人の所持品に対しては、自己の責任で管理すること。
6. 大会に関連するラジオ放送、テレビ放送、新聞、各種印刷物、主催者ホームページなどに私の名前および写真ならびに動画を自由に使用すること。
7. 大会会場（受付・スタート会場、コース及びゴール地点）において、自然を破壊する行為、建物を壊したり汚したりする行為など、他者の迷惑になる行為は行わないこと。
8. 大会日の自転車乗用にあたっては、飲酒をしないこと。
9. 本競技大会参加に際して、トレーニングも十分で、かつ健康状態も良好であること。
10. 大会参加にあたっては、競技前に車検を済ませていること。

※自筆署名押印欄

令和4年 月 日

参加者自筆署名捺印

印

親権者署名捺印

印 続柄（ ）

※申し込み時点で満20歳未満の方は、親権者または親族等の署名捺印をしてください。

注) 主催者は、今大会で得た個人情報について、大会運営および、大会主催者に関連するサイクルスポーツのイベント情報発送のためのみに使用し、個人情報の保護を徹底します。

おおつち新山高原ヒルクライム 2022 競技規則

本大会は「おおつち新山高原ヒルクライム 競技規則」を適用し、開催する。

1. 競技者は、「おおつち新山高原ヒルクライム 競技規則」を守る。違反した場合、失格とする。
2. 本大会誓約書に同意をし、レギュレーションの遵守を誓約する。
3. 競技者はコース上にある危険表示・コースマークに注意し、最大限の安全に努める義務を有する。
4. 競技者は健康管理に留意し、主催者の設ける規則、競技役員の指示に従わなければならない。
5. 競技者は試走を含め大会中を通じ、自転車走行時は常に硬質ヘルメットを着用しなければならない。
6. 競技者は、ブレーキが完全に作動するなど、レースを安全に行うための整備ができていない自転車を使用する。競技前には車検を必ず済ませ（自主車検可）、受付時に車検報告書を提出すること。整備不良の自転車では出場できない。
7. 競技者は、主催者が用意したゼッケンを指定の位置につけて競技しなければならない。
8. 競技者は、スタート前の集合時間に遅れてはならない。遅れた場合は失格とする。
9. 選手の代理出走は認めない。
10. 主催者は競技にカットオフタイムを設ける。カットオフポイントは計測スタート地点から約 7km 地点とし、AM10:10 までに通過できなかったものは失格となり、競技を継続できないものとする。AM10:10 以前にカットオフポイントを通過しても、競技終了の 10:55 までにゴールできなかった選手及びゴールできる見込みのない選手は失格となり、その場で競技を中止し、主催者の指示に従うものとする。
11. 競技者は、他の選手への妨害、斜行、その他危険走行をしてはならない。
12. 走行時には左側走行を原則とし、追い越し、追い抜きをする際は右側から行うこと。また必要に応じて声掛けなど注意を促し、追い抜いた自転車の前方に入る際は、安全を十分確認する。
13. 競技中コース内は時間帯占有されその区間については一般車両は進入しない。ただし、緊急時に車両が通行する場合がある。その際は競技役員の指示に従い、緊急車両の通行を優先する。これによって失った時間は、公式タイムからは削除されない。
14. ゴールおよび着順については、自動計測装置による測定を採用する。着順の判定は、競技運営部会長が行う。
15. 競技者の規則違反等への罰則は競技運営部会長がその処置を決定する。
16. 次の場合は失格とする。危険行為、迷惑行為など、規則違反を犯した場合。アンスポーツマンライクな行動、および競技役員の指示・注意に従わなかった場合。この裁定には抗議を受け付けない。
17. 競技者は、大会中に競技の中止を命じられた場合、直ちに走行を中止しなければならない。
18. 競技者は競技中に起こした事故について全ての責任を負わなければならない。
19. 競技者が制限時間を超えて競技を続けることは認めない。競技役員が競技続行不可能と判断した競技者の競技を中止させることがある。
20. 競技者は、競技役員ならびに他の競技者から不当な対応を受けた場合、抗議を申し出る権利を有する。抗議の申し立てはゴール後、また成績に関する抗議は成績掲示後それぞれ 30 分以内に、口頭にて大会本部・競技運営部会長まで申し出る。競技運営部会長はこれを審査し、この部会の裁定をもって最終決定とする。
21. 下山時にはコース内は時間帯交通規制がかかっているが、常に安全に緊急停止できるようスピードコントロール、車間を十分にとる。
22. コースの試走を行う場合は、他の交通車両の妨げとならないように交通ルールを遵守の上、日没までに行うこと。伴走車は不可とする。



再生 ☆ 新山つつじ
創生 ☆ 大槌
共生 ☆ 三陸

おおつち新山高原ヒルクライム 2022 車両規則

おおつち新山高原ヒルクライムでの競技車両規則は以下のとおりとなります。

<<ヒルクライム>>

車両：ロードバイク、クロスバイク、マウンテンバイクに限る

※**TT バイク、DH バーは不可**

服装：硬質ヘルメット（ハードシェルタイプの（財）日本自転車競技連盟公認のものが望ましい）

<<パレード>>

車両：ロードバイク、クロスバイク、マウンテンバイク、シティバイク、小径バイク等公道を走行可能なもの

服装：硬質ヘルメット（ハードシェルタイプの（財）日本自転車競技連盟公認のものが望ましい）

また、大会前に以下の項目について車検を受けてください。（自主車検可）

項 目	詳 細
ハンドルがぐらつかない	自転車の前に立ち、ハンドル上部を握って下方および左右に強く押したとき動かない事
サドルがぐらつかない	自転車の横に立ち、サドルの前・後端部を持って水平方向に回す力を加えて動かない事
ブレーキが効く	ブレーキレバーを強く握ったときレバーがハンドルに当たらない事
ベル・リフレクターが装着してある	取付けにぐらつきがない事。 ※公道を使用して行う大会のため必要です。また警察からの指導項目でもある
クイックリリースレバーが締まっている	カムレバーが車輪とほぼ垂直の位置で負荷がかかり始めた状態からしっかり倒しこんである事
タイヤが摩耗していない	タイヤのコードが見える状態でない事。また、チューブラータイヤはリムセメントの接着力が有効な事

